



# 令和7年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和7年2月14日

上場会社名 株式会社 オーシャンシステム  
コード番号 3096 URL <https://www.ocean-system.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 勝人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員管理本部長 (氏名) 本間 武士

TEL 0256-33-3987

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 令和7年3月期第3四半期の連結業績(令和6年4月1日～令和6年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
7年3月期第3四半期	68,408	5.7	1,686	3.6	1,751	3.6	1,162	8.9
6年3月期第3四半期	64,704	10.0	1,748	62.5	1,817	59.2	1,275	91.5

(注) 包括利益 7年3月期第3四半期 1,123百万円 (16.0%) 6年3月期第3四半期 1,337百万円 (98.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
7年3月期第3四半期	123.46	
6年3月期第3四半期	135.48	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
7年3月期第3四半期	24,898	11,301	45.4	1,200.55
6年3月期	23,648	10,356	43.8	1,100.18

(参考) 自己資本 7年3月期第3四半期 11,301百万円 6年3月期 10,356百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
6年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
7年3月期		7.00		12.00	19.00
7年3月期(予想)		7.00		7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 令和7年3月期の連結業績予想(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,600	5.5	1,700	11.4	1,780	12.0	1,190	11.0	126.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

7年3月期3Q	10,833,000 株	6年3月期	10,833,000 株
---------	--------------	-------	--------------

期末自己株式数

7年3月期3Q	1,419,327 株	6年3月期	1,419,327 株
---------	-------------	-------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

7年3月期3Q	9,413,673 株	6年3月期3Q	9,413,696 株
---------	-------------	---------	-------------

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(会計方針の変更に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、多くの企業で賃上げが行われるなど所得環境の改善が進んだことや、インバウンド需要の高まりなどを背景に穏やかな回復の動きが見られました。一方、中国経済の減速、米国大統領による新たな経済政策、中東情勢、ウクライナ情勢等世界的な不安要素を抱え、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

食品小売業界におきましても、原材料をはじめ光熱費や物流費、さらには人手不足に伴う人件費の増加など、さまざまなコストの上昇により、経営環境は引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、社会環境の変化や働き方の多様化、環境問題の深刻化やテクノロジーの進展などの課題に対して、令和8年度を最終年度とした中期経営計画に取り組んでおります。また、お客様に提供する商品やサービスの向上と、業務の効率化とデジタル化を促進することにより企業価値の向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は684億8百万円（前年同期比5.7%増）、営業利益は16億86百万円（前年同期比3.6%減）、経常利益は17億51百万円（前年同期比3.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億62百万円（前年同期比8.9%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### (スーパーマーケット事業)

スーパーマーケット事業につきましては、物価上昇が続く中、お客様の節約志向が高まったことで買上点数は減少したものの、当社の強みである非生鮮部門の試食販売や、販売促進企画としてイベントを開催するなど来店頻度向上の取り組みや低価格訴求策などが奏功し、来店客数は比較的堅調に推移しました。また、全店舗でセミセルフレジを導入しておりますが、レジ混雑の緩和によるお客様へのサービス向上のため、フルセルフレジを旗艦店であるチャレンジャー燕三条店で試験的に導入いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のセグメント売上高は204億80百万円（前年同期比1.0%増）、給与水準の引上げに伴う人件費の増加によりセグメント利益は6億51百万円（前年同期比14.4%減）となりました。

#### (業務スーパー事業)

業務スーパー事業につきましては、商品知識を深めるため、フランチャイザーによる商品プレゼンテーションを受講するといった販売スタッフの教育の場を設け、ストアコンディションの維持・向上に努めました。また、野菜の高騰により冷凍野菜の販売が好調となり、最大の繁忙期である12月は北陸や東北地方における積雪の影響が比較的少なく、年末商材や月間特売品を中心に売場展開を実施したことにより来店客数は増加しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のセグメント売上高は362億75百万円（前年同期比8.2%増）、セグメント利益は13億99百万円（前年同期比12.8%増）となりました。

#### (弁当給食事業)

事業所向け宅配弁当につきましては、品質や味・見栄えの向上を図り、メニューの改変などお客様の満足度向上のための商品作りに継続して取り組みましたが、喫食者ニーズの多様化や販売価格改定の影響などにより販売食数は伸び悩みました。

惣菜等の受託製造につきましては、受注商品数は増加し売上高は堅調に推移しましたが、米を中心とした原材料の価格高騰の影響により粗利率は低下しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のセグメント売上高は74億88百万円（前年同期比8.5%増）、セグメント利益は2億51百万円（前年同期比15.0%減）となりました。

(食材宅配事業)

福祉施設などへの食材販売を行う「ヨシケイキッチン」につきましては、利便性が評価され受託施設数は順調に増加しました。また、主力商品である一般家庭向け食材セット「すまいるごはん」につきましても、配達コースの見直しにより配送効率の改善を図るとともに、販促チラシのポスティングとWEB広告による宣伝活動に注力したことで販売セット数は増加しましたが、原材料価格の上昇と子会社合併による経費の増加によりセグメント利益は減少しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のセグメント売上高は37億76百万円（前年同期比3.1%増）、セグメント損失は23百万円（前年同期はセグメント損失9百万円）となりました。

(旅館、その他事業)

旅館につきましては、大手旅行会社からの送客による昼食利用と宿泊者数は増加したものの、宿泊利用については個人客が多く、定員稼働率は低調に推移しました。

また、その他事業の「焼肉黒真」につきましては、平日の営業時間拡大や昼限定の焼肉ランチの提供を始めたことにより、売上高は直近において回復基調で推移しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のセグメント売上高は3億87百万円（前年同期比14.6%増）、新業態への準備費用の発生によりセグメント損失は61百万円（前年同期はセグメント損失48百万円）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ12億49百万円増加し、248億98百万円となりました。これは主に、売上高の増加に伴い売掛金が4億71百万円、現金及び預金が1億86百万円増加したこと、棚卸商品が4億25百万円増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ3億4百万円増加し、135億96百万円となりました。これは主に、長期借入金が5億33百万円、未払法人税等が3億2百万円及び賞与引当金が1億59百万円減少したものの、買掛金が13億69百万円増加したことによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ9億44百万円増加し、113億1百万円となりました。これは主に、利益剰余金が9億83百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.6ポイント上昇し、45.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき予想しました結果、令和6年5月14日に公表しました業績予想値に変更はありません。

なお、実際の業績につきましては、様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。今後、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和6年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和6年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,896,829	5,083,073
売掛金	3,086,873	3,557,918
商品	2,019,268	2,445,039
原材料及び貯蔵品	173,616	227,518
その他	489,370	748,849
貸倒引当金	△1,971	△2,300
流動資産合計	10,663,986	12,060,099
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,753,594	5,540,596
土地	3,131,980	3,131,980
その他(純額)	1,235,397	1,321,352
有形固定資産合計	10,120,972	9,993,930
無形固定資産		
のれん	12,960	9,504
その他	227,705	237,754
無形固定資産合計	240,665	247,258
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	113,608	104,827
その他	2,510,398	2,493,316
貸倒引当金	△912	△1,264
投資その他の資産合計	2,623,093	2,596,879
固定資産合計	12,984,732	12,838,068
資産合計	23,648,719	24,898,168
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,677,303	6,046,939
短期借入金	737,808	724,952
未払法人税等	496,574	194,161
賞与引当金	264,241	104,903
資産除去債務	11,478	17,998
その他	2,660,172	2,589,297
流動負債合計	8,847,578	9,678,252
固定負債		
長期借入金	2,536,392	2,003,036
リース債務	456,424	462,144
退職給付に係る負債	1,580	1,821
役員退職慰労引当金	188,180	197,900
資産除去債務	934,963	937,921
その他	326,892	315,472
固定負債合計	4,444,432	3,918,295
負債合計	13,292,011	13,596,547

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和6年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和6年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	801,710	801,710
資本剰余金	366,781	366,781
利益剰余金	9,893,259	10,876,575
自己株式	△1,169,816	△1,169,816
株主資本合計	9,891,933	10,875,250
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	410,810	377,760
退職給付に係る調整累計額	53,963	48,609
その他の包括利益累計額合計	464,774	426,370
純資産合計	10,356,708	11,301,620
負債純資産合計	23,648,719	24,898,168

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)
売上高	64,704,370	68,408,595
売上原価	50,129,991	53,171,670
売上総利益	14,574,378	15,236,925
販売費及び一般管理費	12,825,757	13,550,460
営業利益	1,748,621	1,686,464
営業外収益		
受取利息	14	257
受取配当金	848	848
受取家賃	31,595	33,868
その他	76,008	64,938
営業外収益合計	108,466	99,912
営業外費用		
支払利息	17,955	16,336
障害者雇用納付金	10,475	7,475
その他	11,057	11,015
営業外費用合計	39,487	34,827
経常利益	1,817,601	1,751,550
特別利益		
受取保険金	—	3,681
負ののれん発生益	104,857	—
特別利益合計	104,857	3,681
特別損失		
固定資産除却損	10,478	9,426
賃貸借契約解約損	5,011	1,233
災害による損失	—	16,001
その他	3,256	—
特別損失合計	18,746	26,660
税金等調整前四半期純利益	1,903,711	1,728,571
法人税、住民税及び事業税	590,347	487,990
法人税等調整額	38,002	78,405
法人税等合計	628,350	566,395
四半期純利益	1,275,361	1,162,175
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,275,361	1,162,175

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)
四半期純利益	1,275,361	1,162,175
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	53,525	△33,050
退職給付に係る調整額	8,680	△5,353
その他の包括利益合計	62,205	△38,403
四半期包括利益	1,337,567	1,123,772
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,337,567	1,123,772
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 令和4年10月28日。以下「令和4年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、令和4年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 令和4年10月28日。以下「令和4年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、令和4年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、これによる前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	スーパー マーケット 事業	業務 スーパー 事業	弁当給食 事業	食材宅配 事業	旅館、 その他事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	20,283,600	33,516,579	6,902,620	3,663,127	338,441	64,704,370	—	64,704,370
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,256	1,142	395,774	13,307	1,716	413,197	△413,197	—
計	20,284,856	33,517,722	7,298,395	3,676,435	340,158	65,117,567	△413,197	64,704,370
セグメント利益 又は損失(△)	760,396	1,240,822	295,603	△9,055	△48,694	2,239,072	△490,451	1,748,621

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△490,451千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△490,626千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない全社共通費用であり、その主なものは管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

「食材宅配事業」セグメントにおいて、第1四半期連結会計期間に株式会社ヨシケイ両毛の株式を取得し連結子会社としました。これに伴い、負ののれん発生益104,857千円を計上しております。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	スーパー マーケット 事業	業務 スーパー 事業	弁当給食 事業	食材宅配 事業	旅館、 その他事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	20,480,653	36,275,793	7,488,270	3,776,149	387,729	68,408,595	—	68,408,595
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,742	1,162	406,786	15,188	3,301	428,181	△428,181	—
計	20,482,396	36,276,955	7,895,057	3,791,337	391,031	68,836,777	△428,181	68,408,595
セグメント利益 又は損失 (△)	651,117	1,399,094	251,405	△23,249	△61,469	2,216,898	△530,433	1,686,464

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) の調整額△530,433千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△530,465千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない全社共通費用であり、その主なものは管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)
減価償却費	715,530千円	742,824千円
のれんの償却額	3,344	3,456